令和８年８月４日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

資料５－６

令和７年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

【大湫町コミュニティ推進協議会】

●実績の概要

事業数	１事業
事業費総額（決算時）	８８３，６０３円
交付金決定額	６６８，０００円
（うち加算額）	（０円）
交付金決算額	６６８，０００円
交付金返還額	０円

●添付資料

・実績報告書※各事業の実績書の前に当初の計画書を添付　Ｐ１　～Ｐ５
・事後評価調書　Ｐ６
・参考写真
（令和７年度夢づくり地域交付金事業の様子）　Ｐ７　～Ｐ８

様式第８号（第１１条第１項関係）

令和　８年　４月　１７日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市大湫町422-1番地
名称：大湫コミュニティ推進協議会
代表者氏名：会長　加藤　博一

夢づくり地域交付金実績報告書

令和７年５月２日付瑞浪市指令第５０号の５で交付決定された夢づくり地域交付金の事業計画について、瑞浪市夢づくり地域交付金交付規則第１１条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．実績書（様式第９号）

事　業　名	交付金額（円）
地域住民とともに現地の環境整備	0
バス待合所の設置	878,042
バス停掲示板のペン等購入	4,005
お披露目会 菓子代等	1,556
合計	883,603
（　　）基金積立事業	

２．活動記録等の資料（写真等）
３．帳簿の写し（監事の記名・押印のあるもの）
４．通帳の写し
５．契約書の写し（１件の支払額が５０万円を超える場合に限る。）
６．備品購入、業者選定等の選定委員会等の会議録（ステップアップ事業）

注１）不要な文字は抹消すること。
注２）上記以外の添付書類がある場合は、連番を付して記載すること。

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１．事業名

コミ・スクールバス利用者のためのバス待合所の設置

２．事業の概要　（地域の課題・活動内容・目的等）

コミ・スクールバス利用者のために、バス停留所に待合所を設置します。
利用者の大半は釜戸小学校、瑞浪北中学校へ通う子供たちであり、バス待合のわずかな時間とはいえ雨雪や強風時は大変な中で立ち尽くしているのが現状です。何とか風雨をしのぐための待合所を設置したいと思います。神田区はＲ６年度に地区で実施済みであり、今回は足又区と西区の二ヶ所を予定します。
また、それ以外の利用目的として、健康増進のために散歩する高齢者が増加しており、その人たちの休憩や立ち話などで利用してもらえるよう花壇の新設や再整備を行います。

１）大湫西区・足又区にバス待合所を設置する。
２）子供たちに自分たちの待合所となるように絵などをペイントする。
（子供やその保護者で実施する）
３）花壇の新設や再整備を行う。
（地域の保護者や長寿会で実施する）

３．事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

・ボランティア参加　３０名。
・広報「大湫」への完成披露記事の掲載。

４　事業に要する経費（総事業費）

８５０，０００円

５　交付金申請額

６６８，０００円
（内、交付金加算額　０円）

６　合同で実施する地区

無

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

「コミ・スクールバス利用者のためのバス待合所の設置」

２　活動報告（活動内容等）

①１０月２５日　現地環境整備
・ＰＴＡ・長寿会を中心とした地元住民の皆さん１５名の参加で、西区バス停設置予定箇所にある花壇の移設等の環境整備作業を行いました。
・足又区の土地は財産区へ、西区の土地は県土木を通じて占用許可申請の手続きを行いました。県土木からは厳しい設置条件に従って幾度となく仕様と見積修正をすることになりました。
②１１月中旬　バス停設置
・地元の㈱コイデ建築に依頼してバス停を設置。足場整備も含め当方の希望を十分に汲んでいただけた施工内容となりました。
③１１月２４日　完成「お披露目会」
・日常利用する児童や町民１２名とともに「お披露目会」を行い、子供たちには掲示板に思い思いの絵を描いてもらいました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

目標①「ボランティア参加３０名」に対し２７名でした。
　１０月 現地環境整備に町民ボランティア参加者１５名
　１１月 完成「お披露目会」に児童・町民が１２名参加
目標②広報「大湫」１月号へ完成報告とお披露目会の記事を掲載しました。

４　事業に要した経費（総事業費）

883,603 円

５　夢づくり地域交付金充当額

668,000 円
（内、交付金加算額　　0円）

６　合同で実施した地区

無し

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	・4/24 夢づくり地域交付金事業審査		
５月	・㈱コイデ建築へ正式見積依頼		
６月	・6/4 財産区（足又）および県土木（大湫）へ土地占用許可申請提出		
７月	・県土木からの設置位置、高さ、強度など設置条件調整（大湫）		
８月	・土地地主との貸借契約の確認（大湫）		
９月			
１０月	・現地環境整備作業（ボランティア１５名）	食料費	0
１１月	・㈱コイデ建築による設置工事（大湫） ・㈱コイデ建築による設置工事（足又） ・バス停掲示板のペン等購入 ・11/24 完成「お披露目会」（町民１２名）	委託料 委託料 原材料費 消耗品費	446,996 431,046 4,005 1,556
１２月			
１月	・広報「大湫」１月号で完成報告		
２月			
３月			
合計			883,603

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	668,000		
自主財源	182,000		
その他（　　）			
合　　計	850,000	0	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
原材料費	バス停待合所の土地整備（花壇移動）	原材料費	15,000	0	
食料費		食料費	5,000	0	
委託料	バス停待合所建物の設置	委託料	760,000	878,042	大湫　446,996円 足又　431,046円
原材料費	地域住民とともに完成「お披露目」	原材料費	60,000	4,005	ホワイトボードペン等消耗品
食料費		食料費	10,000	1,556	菓子代等
合　　計			850,000	883603	0

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　　大湫 地区

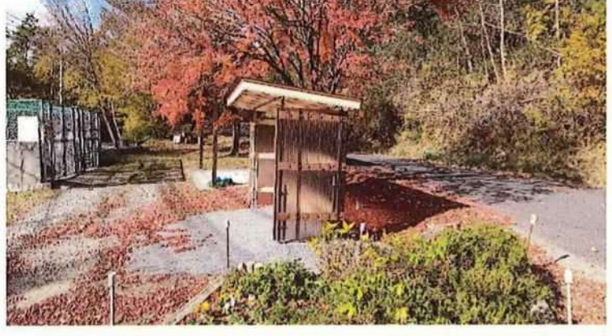
事業番号　　1

事業名　　コミ・スクールバス利用者のためのバス待合所の設置　　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		3
2	成果目標の達成度	成果目標	・ボランティア参加 30名。 ・広報「大湫」への完成披露記事の掲載。	3
		実績値	・10月環境整備に町民ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ15名、11月お披露目会に児童町民12名参加。 ・広報「大湫」1月号に完成お披露目会の報告。11/26中日新聞東濃版に掲載。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		3
4	地域の課題解決	課題の内容	・神田区は前年度に区会計より拠出して設置。これで町内児童・生徒が毎日利用するバス停にはすべて屋根付きの待合所が整うことになった。	5
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				22
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 継続　3(終了)　4 廃止		
意見・感想など		県土木の施工条件により当初より設置予算は膨らむも、住民作業時の協力もあり事業全体はほぼ予算通りの執行となりました。現在も待合所の前を通るたびに児童たちが描いた新しい絵やコメントが目に入りとても微笑ましく感じられ地域住民の会話にもつながっています。事業の実施により地域コミュニティの強化につながりました。		

バス待合所完成写真（足又）





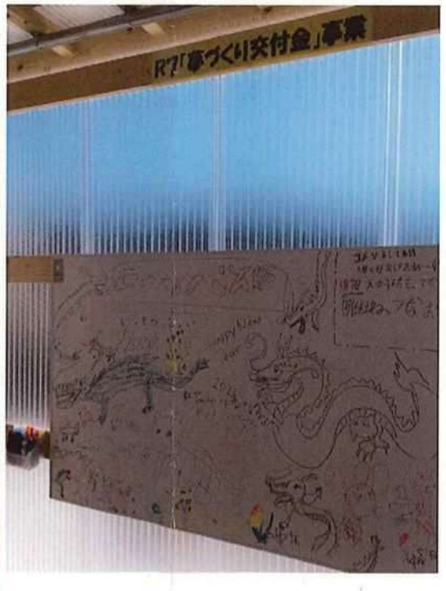




バス待合所完成写真（大湫）









バス待合所「お披露目会」(大湫)

11月24日(月) 9時30分より「お披露目会」を行いました。 R7.11.26中日新聞

風雨でも安心 バス待合所新設

瑞浪・大湫 お絵描き掲示板付き

瑞浪市大湫町の2カ所に、通学などでの利用を想定したバス待合所が新設された。地域の子どもたちが風雨の中、傘を差してバスを待つことがなくなるよう、市の夢づくり地域交付金制度を活用して設置した。

設置されたのは、中山道大湫宿のある西区西側の県道沿いと足又公民館前。コミュニティバスの停留所で、釜戸小などへ通う地域の子どもたちが乗降している。待合所は幅3㍍、高さ2・6㍍(足又公民館前は2㍍)で、木とポリカーボネート(PC)を組み合わせて屋根とベンチを備える。

子どもたちが絵を描いて楽しめるよう、幅1・8㍍の掲示板も取り付けた。顔縁富久区長会長は「自由に絵を描いて」と呼びかけ、「大人も休憩や立ち話に利用してもらって、絵を見て和んでほしい」と待合所の将来像に期待を込めた。

24日には待合所を利用する釜戸小の児童らが集まり、掲示板に色とりどりの動物などを描いた。見守った保護者は「雨の日でも大丈夫」「車の通るすぐそばで待たなくて良くなった」と安心した様子を見せた。

(伊藤敬太)



新設されたバス待合所＝瑞浪市大湫町で







R8-1月号　広報「大湫」

バス待合所が完成しました

令和７年度夢づくり地域交付金制度を活用し、バス待合所を設置しました。西区、足又区に設置され、西区は県土木課へ完了届を提出しました。

１１月２４日には西区のバス待合所で完成披露会を行い、待合所内の掲示板に子供たちにかわいい絵をかいてもらいました。屋根があるので、雨の日のバス待ちが便利になります。たくさん利用してください。







令和7年度夢づくり地域交付金事業（通常）

「コミ・スクールバス利用者のためのバス待合所の設置」審査会報告資料

R8.8.4　大湫町コミュニティ推進協議会

1. コミ・スクールバス利用者のためのバス待合所の設置

コミ・スクールバスを利用する釜戸小学校、瑞浪北中学校へ通う子ども達が風雨をしのげるようにバス停留所に待合所(足又・大湫の二ヶ所)を設置しました。また、町内を散歩する方たちが休憩や立ち話などでも利用してもらえるよう花壇整備を行いました。

①10月25日　現地環境整備

・PTA・長寿会を中心とした地元住民の皆さん15名の参加で、大湫バス待合所設置予定箇所にある花壇の移設等の環境整備作業を行いました。

・足又区の土地は財産区へ、西区の土地は県土木を通じて占用許可申請の手続きを行いました。県土木からは厳しい設置条件に従って幾度となく仕様と見積修正することになりました。

②11月中旬　バス停設置

・地元の㈱コイデ建築に依頼してバス停を設置。足場整備も含め当方の希望を十分に汲んでいただけた施工内容となりました。

③11月24日　完成「お披露目会」

・日常利用する児童や町民12名とともに「お披露目会」を行い、子供たちには掲示板に思いの絵を描いてもらいました。

2. 総事業費　883,603円（交付申請額 668,000円）

3..事業結果

項　目	予　算	実　績
・バス待合所の設置（大湫と足又の2ヶ所）	760,000円	878,042円
・バス待合所の土地整備	20,000円	0円
・地域住民（PTA、長寿会）と共に現地の環境整備（花壇他）	70,000円	5,561円
計	850,000円	883,603円

4. 活動の経過

4月	事業審査会
5月	バス待合所設置に向けた各許可申請
6～9月	県土木基準に基づく仕様変更と再申請、地主との貸借契約等
10月	地域住民（PTA、長寿会）と共に現地の花壇等の環境整備
11月	バス待合所建物の設置・完成お披露目会

5. 取り組みの評価（評価調書より）

1	前年度の神田区の取り組み状況をうけて区長会議等で事業の必要性を検討。実際にバス停を利用している方の声の聞き取りを実施しました。
2	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ参加30名の目標に対し、10月環境整備に町民ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ15名、11月お披露目会に児童町民12名が参加。広報「大湫」1月号に完成お披露目会の報告。11/26中日新聞東濃版掲載。
3	主要道路沿いに見える形での施工でまちづくり組織の活動に対する住民の理解が深まりました。
4	神田区は前年度に区会計より拠出して設置。これで町内児童・生徒が毎日利用するバス停にはすべて屋根付きの待合所が整うことになりました。
5	県土木の施工条件により当初より設置予算は膨らむも、住民作業時の協力もあり事業全体はほぼ予算通りの執行となり、全体としては効果的かつ適正に使われました。
6	現在も待合所の前を通るたびに児童たちが描いた新しい絵やコメントが目に入りとても微笑ましく感じられ地域住民の会話にもつながっています。事業の実施により地域コミュニティの強化につながりました。

1）大湫・足又バス停の元の状況



（大湫）



（足又）

2）現地 環境整備作業の状況（10月）





（町民ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ15名の参加で実施）

3）待合所の完成写真





4）完成お披露目会（11月）



